

みんなの 町議会

広島県
神石高原町

第60号
令和元年10月15日

平成30年度 決算	2
平成30年度 決算質疑	4
9月補正予算質疑	9
町政のココを聞く	10
ありゃあどうなったん?	23

わたしたちが育てた神石牛!



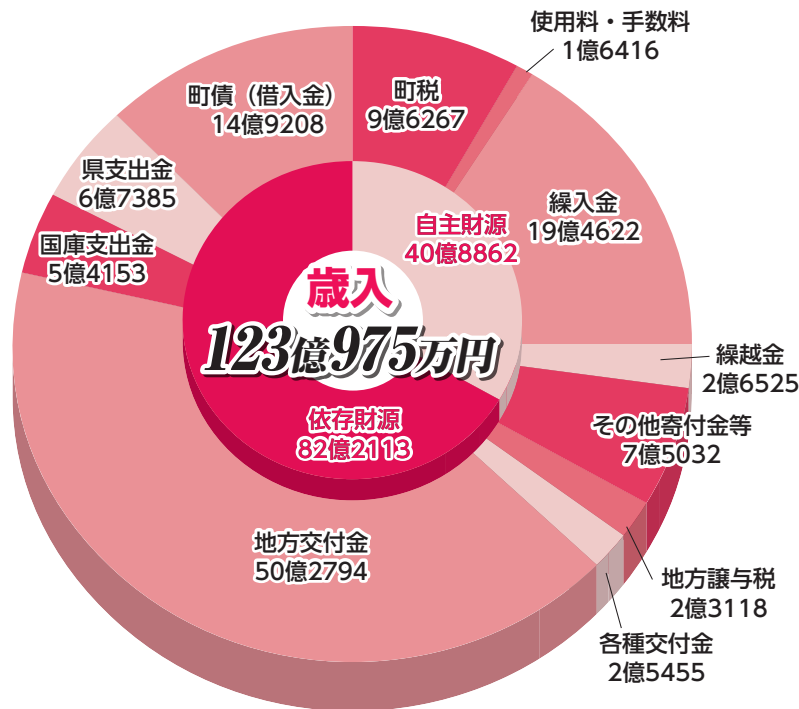
決算で認定

一般会計 **123億975万円**

9月
定例会

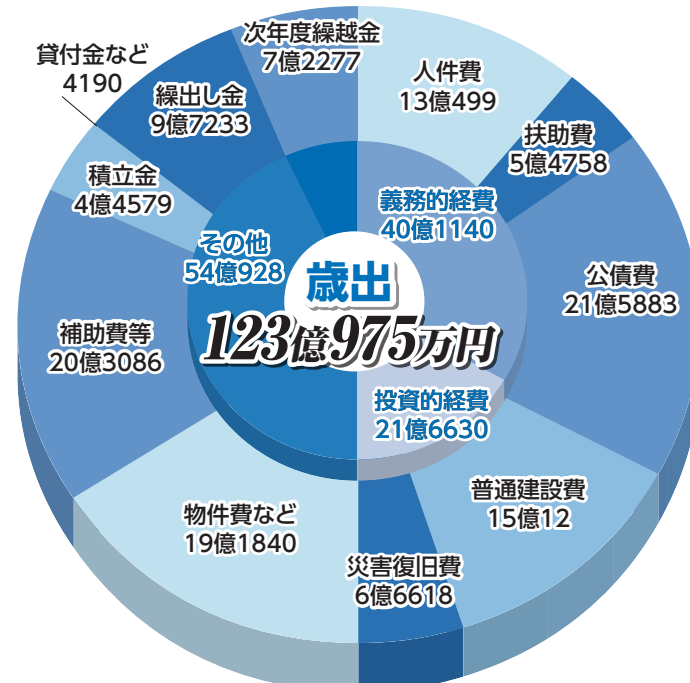
歳入

前年度比で、額にして11億8988万円、率にして10・7%の増。主な要因は繰入金・町債や国庫支出金が増加によるもの。



歳出

前年度比では9億8235万円、率にして9・3%の増。主な増額要因は、災害復旧費、公債費繰上償還の増である。






9月定例会は、9月6日から19日まで開かれました。平成30年度の全会計を決算認定し、令和元年度の補正予算を含め、34議案を審議し、すべて原案通り全会一致で可決しました。一般質問では9人が町長・教育長に行政課題などについてたずねました。

平成30年度

全会計黒字

浮き彫りになった課題

決算質疑で
くわしく質問

- 
ふれあいタクシー
 600円で町民の交通手段を確保 **6962万円**
- 
チャレンジファンド運営
 町内での起業者等の支援 **3983万円**
- 
映画 逃亡料理人ワタナベ
 町の特産品や観光地PRが目的 **598万円**

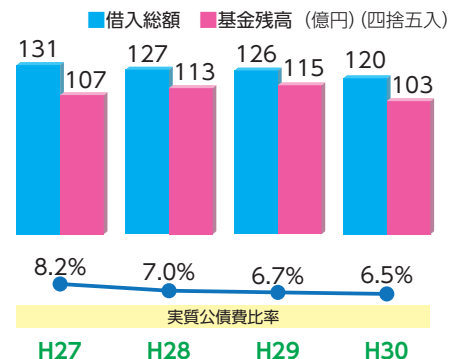
平成30年度 各会計歳入歳出総括表

単位：万円 (四捨五入)

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	繰越財源	差引残高	
一 般 会 計	123億975	115億8698	1億642	6億1636	
特 別 会 計	国民健康保険	10億5074	9億9361		5,713
	後期高齢者医療	3億7720	3億7623		96
	介護保険	18億3214	17億9075		4,140
	簡易水道事業	2億6185	2億2980	586	2,620
	飲料水供給施設事業	6,359	6,049		310
	農業集落排水事業	2億4932	2億3526		1,406
	総合開発事業	1,897	1,897		
	分収育林事業	5	5		
	計	38億5386	37億516	586	1億4285
企業会計	病院事業会計	4億7839	4億7838		1
合 計	166億4201	157億7052	1億1228	7億5921	

決算指数の推移

借入金総額は合併した平成16年の213億円をピークに年々減少。基金残高は平成16年の13億円から年々増加し平成29年度には115億円となった。平成30年度は、大規模な繰上償還を実施したため借入金総額、基金残高ともに10億円程度減少している。



*実質公債費比率

自治体の収入に対する負債返済の割合を示すもので平成21年度の21.9%をピークに、適正化計画の実施により年々低下し、平成30年度には6.5%と大幅に改善している。

た事業を追求



チャレンジファンドは？



チャレンジファンドで支援する酒蔵

ふれあいタクシーの財源は？



好評の事業だが財政負担増で見直しが必要

小川善久議員 500万円の経費はかかりすぎでは。

政策企画課長 東北大震災後に共益投資基金ジャパンが行った基金がモデルとなっており、非常勤の理事3名と常勤の事務員1名でおよそ年間800万円の経費がかかったと聞いている。本町の500万円は高くない。

久保田議員 支援先の業者が豊松地区の空き家を6月末に改修に入ると説明を受けたが、未だ工事をしていない。

横山議員 ふれあいタクシー事業の財源確保は大丈夫か。

制度の見直しが必要では。

総務課長 事業費は年々増加している。持続可能な制度にするため、利用目的や車種で料金を変えするなど検証し、早期に検討する。

横尾議員 ふれあいタクシー事業費が年々増加している。町民の方に複数での利用をもっと要請すべきでは。

総務課長 乗り合わせの要請を今後もしていく。

すでに支出した1000万円の返金を求めるべきでは。

政策企画課長 運営状況を調査しているが9月に工事に入り、本年の末にはオープンする予定なので、返金は求めない。

久保田議員 投資先は決まっているが、金額が調整中の案件は何か。

政策企画課長 日本酒の醸造所をつくり製造販売する事業が決まっている。投資額は数百万円を予定している。

藤田議員 どの車種のタクシーを利用しても料金600円には問題ないか。

総務課長 9人乗りは今後廃止も含め検討していく。

藤田議員 乗り合わせの場合2人目以降の料金を、割安にしても徴収すべきでは。

総務課長 2人目以降の方の利用料金を格安にすることについては、今後制度の見直しにおいて検討したい。

課題になっ

映画「逃亡料理人ワタナベ」は？



本当に必要な事業だったのか？
PR効果は本当に期待できるのか？

横尾議員

映画製作は、内容も大幅に変更されたが、補正予算を繰り越してまでやらなければならない事業だったのか。

町長

内容の検討や俳優の日程調整などで練り越しが必要となった。制作された映画の中に、町内の自然や産品などを盛り込んだものになっているのでPRに繋がっている。

横山議員

反対も多かったこの事業をどのような思いで執行したのか。また、ストーリーを把握していたのか。

町長

賛否両論あったが町民参加と町のPRに資する観点から、住民の方からは一定の理解を得られたと思い、執行した。

ストーリーすべてを把握していた訳ではない。

林議員

本作品の費用対効果を考えるとき、出来上がり作品の評価が必要だが所見は。

町長

私は100点と評価している。

総務課

財政運営

木野山議員 今後の財政推計と財政運営方針は。

総務課長 令和5年頃には予算規模は95億〜90億程度で推移していく。

今後の財政運営は引き続き自主財源の確保に取り組み、財政計画に基づ

く計画的な事業実施を行う。また災害からの早期復旧と地方創生に取り組みたい。

指摘事項への対応

小川清治議員 審査意見書によると現地調査を行

なった17事業のうち半数で改善を求められている。指摘事項に対する対応は。

町長

審査意見書にある指摘と意見は真摯に受け止め、今後の行財政運営に反映させるよう引き続き努力していく。

久保田議員

監査意見書に一部職員の恒常的な遅刻などが見受けられると指摘があるが。

総務課長

勤務時間ギリギリに来ることのないよう適切な出勤の指導をする。

遊休財産処分

赤木議員

処分は地元要望によるものとの説明があったが、優先順位は。

総務課長

建物の老朽化や危険性と、解体後の土地活用も検討し判断している。

避難所の整備

寄定議員

油木山村開発センターは避難所として万全か。

総務課長

今後は、和室へのエアコン設置や照度不足改善など、対応に努める。

政策企画課

ビジネスコンテスト

横山議員 ビジネスコンテストは、単なる賞金のばらまきになっていないか。

政策企画課長

30年度は優秀賞2件で、1件は販路拡大し事業拡大につながっている。

もう1件は、神龍湖でのミニテーマパーク構想の実現で雇用拡大を期待している。

藤田議員 最優秀賞百万円、優秀賞五十万円は高すぎるのではないか。

政策企画課長 地域への掘り起し、チャレンジしようという意識づくりにおいて、百万という金額は有効である。

まちづくり推進課

空き家バンク事業

林議員 大家と借り手の契約上のトラブルで出た行った方がいる。役場としてのケアをどう考えるか。

まちづくり推進課長

空き家バンクは、地域住民が主体となって移住者を受け入れる機運を醸成することが重要不可欠だ。

協働支援センターも含めて良い仕組みができないかと現在も模索している。

地域おこし協力隊

赤木議員 近年は事業目的別で隊員の募集を行い、配置がなされている。将来的に募集が順調にいくのか。

まちづくり推進課長

募集時入念なマッチング作業を行っており、2年以上かけて募集をしているものもある。全国で取り合いになっているが人とのつながりでこの町が好きになった方が応募する事例がある。

婚活イベント

横尾議員 カップルの成立はあるが、成婚までに繋がっていない。強力な仲人役が必要では。

まちづくり推進課長

町は出会いの場の提供をするが、個人の人生の選択に介入することにならない。

住民課

地籍調査の停滞

横尾議員 豊松地区での地籍調査が停滞しているが、詳細と原因は。

住民課長 所有者の意向を酌み過ぎ、長期間待っていたため登記が出来ていない。

副町長 調査は内部で検証し報告をする。

福祉課

子育て支援策

寄定議員 国の幼・保無償化により、本町独自の

子育て支援策が後退しな

いか。

福祉課長 国の制度により実質負担増とならないように継続し、来年4月から新たな制度実施を検討する。

保健課

看護師就職支度金貸与事業

横山議員 看護師確保のために始めたこの事業は、なぜ今年度で終了なのか。

保健課長 緊急措置で5年間の事業で始めたもので、現在4人に貸与している。希望者も少なくなつた事もあり終了とした。

病院経営健全化

木野山議員 政策医療交付金のうち、3579万円が今年度返金精算となっている。

主要要因と病院健全化取り組み方針は。

保健課長 地域包括ケア病床の取り入れによる単価アップと、透析患者の増により増収。職員退職と看護師減により人件費が減額となった。健全化は収支の状況、運営課題を確認しながら適切な病院経営にあたる。

町長 なくてはならない病院なので、お互い歩み寄りながら健全な病院経営に努めたい。

環境衛生課

里守り犬の今後

寄定議員 里守り犬育成事業の第2期生募集状況と今後の方針は。

環境衛生課長 募集をしたが希望者がなかった。今後の里守り犬事業は、産業課と連携し取り組みたい。

産業課

林業再構築プロジェクト

林議員 整備した森林作業道は持続的管理を想定したものか。

産業課長 作業が終わった後は植林をして山へ戻すという事を想定している。

鳥獣被害防止対策

寄定議員 より効果的・効率的な対策をすべきでは。

産業課長 今後、先進事例など研究し、新たな効果的な取り組みを進めたい。

182ステーション特産品

寄定議員 特産品（クラフトビール・フードメニュー）の完成度と利益率はどうか。

産業課長 現在、13種類のメニューを開発中。利益率は30%である。

経費の比較

藤田議員 まるごと市場とエブリイ2店舗での経費の比較は。

産業課長 250万円ぐらいの経費が浮いてきている。

建設課

**小規模崩壊地
復旧事業**

赤木議員 崩壊防止の工事施工の希望が20件程度残っている。優先順位は決まっているのか。

建設課長 危険なものから進める。不公平感のないよう、工事希望者とは話をしている。

教育課

文化財発掘

林議員 以前は発掘調査した時、現場で住民に成果を発表していたが今は行なわれないのか。

教育長 広島大学大学院文学研究科に、調査研究報告書を毎年作成していただいております。報告書の閲覧は住民も可能だ。

**学校のブロック塀
対策とエアコン**

寄定議員 ブロック塀・冷房設備の取り組みと成果は。

教育課長 学校施設の点検・調査、改修を実施した。エアコン設置は、昨年12月議会での補正予算可決により、他市町より早期に設置でき学校現場から感謝されている。

平成30年度 決算審査意見書(抜粋)

代表監査委員 橋本 龍之
監査委員 橋本 輝久

実質公債費比率は、前年度の6.7%よりさらに0.2ポイント改善している。一方、経常収支比率は上昇しており財政硬直化傾向にあり懸念される。

今後においても、地方交付税の縮小の中、歳入の確保、歳出の縮減に努め、より健全な財政運営を図ることを望む。



指摘・要望事項

- ①土地借り上げ料
土地所有者との協議をすすめ、削減に努められたい。
- ②地籍調査事業
豊松地区で内部事務処理が停滞していた。適切な対応を求める。
- ③ふれあいタクシー運賃補助
財政負担は否めない。運用実態を調査して見直しを検討されたい。
- ④日本オーガニックカレッジ事業
補助金交付にあたって事業計画の精査が問われる。
- ⑤町税等の適正な徴収
納税者の理解を求めて適切に徴収されたい。
- ⑥町営殿敷住宅の飲料水確保について
抜本的な対策を強く望む。
- ⑦ブロック塀・冷房設備対応臨時特例事業
各校で設計数量等の条件が異なることから適正な業務委託契約となっていない。
- ⑧勤怠管理について
勤務時間管理を、「タイムカード」で実施しているが、適正な勤怠管理に努められたい。
- ⑨事業展開と事務処理について
効果的な業務のチェック体制の確保と事務指導体制の充実に努められたい。

何が問題 まるごとにつぽん **ピックアップ**

神石高原町(備後圏域)ブース

浅草のよいじめる

雷門をくぐり、多くの外国人観光客の中をぶつからないよう、仲見世を通り、本堂で御参りをしてから、「まるごとにつぽん」に向かう。

路地を抜けて見上げると、リッチモンド・ホテルの看板の隣に「まるごと」の文字が見える。

裏通りにあり、案内看板もないため、情報誌を見た人が行く、知る人ぞ

知るゝといった場所か。

年間400万円の
ブース料の価値

午前10時、開店と同時に入店する。エスカレーターで3階へ上がると、神石高原町(備後圏域)のブースがあった。

1坪ほどの展示場だ。ブースには豊松の神祇の衣装や神石高原町のキャラクター「四仙人」のぬいぐるみを展示中。低い棚には、町内外の



浅草にあるまるごとにつぽん



3階「たいけん広場」は、地域の紹介、特産品の販売
右上の神祇の衣装の説明は他県の人には難かしいかも

商品がたくさんある。33品目中、町内産は22品目。売り上げは、4カ月で44万円だ。

ターゲットはだれ

40〜50代の女性がターゲットだ。外国人団体の観光客もちらほら。町のPR、知名度アップのためにやっている町長は言う。

そもそも、誰に、何を。何のためにPRしているのか。

◇東京から移住者を増やすため。

◇外国人観光客を増やすため。

◇産品を販売するため。と、いったところか。

『情報は、川上から』と言われる。セオリーどおりかもしれない。

しかし、効果を求めるなら、近郊から現実的な足固めを考える必要もあるのでは。

ブース契約は

6月議会で「備後圏域の取り組みであり、国から『特別交付税』算入措置を受けられる。だから400万円、すべてが町

費ではない。」と執行者の答弁。

しかし、特交措置は、他の特交と合算のため、正確な交付金の金額は分からない。

いづれにせよ、次年度以降の出展をどうするかを年内に示さなければ、ならない。

決算質疑でも追及

久保田議員 昨年は福山市中心で備後圏域として出展。成果と町の負担は。

政策企画課長 昨年は福山市と本町のみだった。負担金は10万円払った。

久保田議員 今年は、本町単独で400万円支払い、他市町の物販もしている。なぜ、福山市は撤退をしたのか。

政策企画課長 備後圏域で取り組むはずが、広がらないとみたのだらう。

9月補正予算

補正予算額

補正後予算現計

一般会計

3811万円

116億161万円

全会計

5718万円

158億3869万円

主な補正事業

・環境美化推進事業

補正額 559万円

神龍湖内及び周辺の不法投棄物処理の町負担分

・保育所運営事務経費

補正額 171万円

広域入所に係る委託料 130万
給食提供不能時対応非常食192人分

・畜産施設整備事業

補正額 818万円

畜舎新築・増築・整備の補助金経費の30%以内
上限200万円
放牧場柵への補助金（経費の30%以内）など

・教育課事務局経費

補正額 58万円

小中学校給食提供不能時対応非常食の備蓄650人分

・里山林・環境緑化・間伐材利用対策
ひろしまの森づくり事業

補正額 1012万円

固屋城景観整備

・旧仙養診療所整理

補正額 133万円

施設内の不要な医療機器・薬品などの廃棄処分

・病院事業会計

補正額 3579万円

政策医療交付金の清算返還金

給食提供不可能時の非常食

木野山議員 保育所の子供たちに非常食が計上されている。私立のどんぐり幼稚園に対する非常食は考えていないのか。

教育課長 学校給食が提供できない場合の想定である。

町長 どんぐり幼稚園は弁当持参だ。学校給食は給食費を頂いて責任をもって昼食を提供している。それが出来なくなった時のバックアップだ。

神龍湖 不法投棄物処理

林議員 神龍湖内のゴミの集積場所を移動できないか。

環境衛生課長 中国電力がアオコの発生調査を行っているが、位置を変えるのは難しい。

林議員 環境美化推進事業の中に、神龍湖にゴミを捨てさせないというキャンペーンはあるのか。

環境衛生課長 不法投棄対策については、この事業を活用している。観光地では住民啓発だけではなく、看板やポスターなどの設置を考える。

診療所の設備処分

赤木議員 旧仙養診療所の医療機器などの処分は、なぜ今なのか。今後の利用は。

保健課長 高蓋診療所と同時期に計画したが、レントゲンの処分が時間がかかった。今後は未定。

総務課長 高蓋診療所に関しては利用の打診があったため対応を行った。

病院事業会計

横尾議員 町立病院決算確定に伴う清算返還金が、3千5百万円ありある。地域包括ケア病床の算定基準の改定と、透析患者の増加と聞くと、透析患者の増加の理由は、透析患者の増加は、医療費の増加につながり患者の方々の負担になる。もっと予防医療に力を入れられないか。

保健課長 町内の透析患者が増加しているが、原因の検証はしていない。町では糖尿病性腎重症化予防事業を行い、町立病院では、糖尿病重症化予防のための短期入院などを行っている。今後も予防に力を入れていく。

町政の「こ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします
全文については順次更新しますので、町ホームページをご覧ください。



赤木 俊二 議員

問 町へ帰るための奨学金を



答 早急に対応したい

問 油木高校から農業技術大学校に進学する学生対象の奨学金制度廃止の理由は。

答 町長 国の青年就業給付金制度と同様のため令和元年度をもって廃止する。

答 産業課長 国は年間150万円程度、町は11万円程度を給付。就農目的の事業で、今まで国の制度に上乗せして町

が払っていた。

問 鹿児島県長島町では「ぶり奨学金」という制度を導入している。特産のぶりは、回遊魚であり出世魚でもある。将来は町に帰ってきて欲しいとの願いからこの名前が付いた。

この制度は農業のみならずいろいろな進学に対応ができ、卒業から10年以内に町内に帰ってくれば元金を返済しなくてもよい。この制度をどう考えるか。

答 町長 ぶり奨学金は民間資金やふるさと納税などを活用した制度で、社会的・地域性という面においても意味ある取り組みだと思う。

町に帰ってきたいと希望する生徒がふえている中、この奨学金制度は大

変参考になる。

学生やそのご家族の支援に直結するので、この奨学金制度を参考に本町でどんな取り組みが出来るか早急に対応していきたい。

次世代議会のあり方

問 毎年開催の中高生による次世代議会の提案は十分に生かされているか。具体的実施などは。

答 町長 次世代議会の提案は、参考になる点が大いにある。

答 副町長 内容的には教育活動の一環であるが、道の駅リニューアルに伴い、ジュースの出る蛇口などは実施に向け関係者と検討している。



蛇口から出るミカンジュース
(まるごとにつぼんへ愛媛県が出店)

問 愛知県新城市では「若者議会」の取り組みが行われている。予算提案権を持ち、市議会の承認を得て、市の事業として実施される。公募であるが高校生の割合も多く、国としても注目した制度となっているが、この制度をどう考えるか。

答 教育長 次世代議会は小中学校の総合的な学習で学んだことを、提言や質問として議会で発信している。

答 町長 新城市の取り組みには非常に興味がある。将来を担う若者の発想などをサポートし、実現

若者議会のような形態をとることは難しいが、予算やお金の流れをシミュレーションで取り入れることは可能である。



横山 素子 議員

問 まるごとにつぼんの売り上げは

答 順調に伸びている

町長

問 東京浅草の、まるごとにつぼんブースで、4月より本町の特産品が販売されているが、売り上げ状況は。

答 また、品目はどのくらい増えたのか。

答 町長 4月以降、4ヶ月間で本町分は44万円で順調に伸びている。品目も当初の5品目から22品目に拡大している。

確実に町のPRの一助になっていると考える。

問 同じ産品を作っている人と出せない人がいるのは不公平ではないか。

より多くの人が、産品を出せるような仕組みを作らなければならない。

答 政策企画課長 まるごとにつぼんのバイヤーが来て、産品を見て、売れるかどうかを判断している。

こちらからも、多くの産品がある事をお知らせしている。

問 年間400万円余りのブース料の内、販売促進負担金100万円は具体的に何に使われるのか。

答 政策企画課長 物産展の企画・チラシ・ポスター・情報発信、また、季刊誌の発行や町のPRをモニターで上映して頂いている。

問 来年度も引き続きこのブースを借りるのか。

答 政策企画課長 生産者の方に好評を頂いているので、引き続き行いたい。

産直市場の
今後は

問 来春オープンする道の駅の売り上げ目標と今後の運営体制と方針は。

答 町長 来年3月下旬頃のオープンの予定で、売り上げ目標は、年間6億円を見込んで、運営方針については、随時協議をしている。オープンに向けて、役割分担の調整と、適正な人員配置の為に職員の募集を行っている。

問 百彩館の売り上げ状況と今後の集客増は、どのようにして行うのか。

答 町長 加工品や自動販売機は横ばいだが、産直コーナーでは減額となっている。

今のままでは、客も減っていく。道の駅のリニューアルと合わせてレストランの有効活用と集荷についても考えていきたい。

答 町長 道の駅は民間企業なので、あまり口出しはできないが、今後検討していく。

問 リニューアル時は、社長の選任もするといわれた。社長は副町長が引き継ぎするのか。

をしていきたい。



浅草の国際的な観光地に隣接し、外国人のツアー客も訪れる

問 事業の自粛や見直しが必要では



横尾 正文 議員

町長 **答** 必要のない事業はない

問 議会に何も説明がなく協定や契約が結ばれていることがある。議会を追認機関と捉えているのでは。

答 また、対話集会などで町民の方から「町が行っている事業にも問題があるが、それを止められない議会にも問題がある」という意見をよく聞く。議員の多くが必要のない事業の自粛や見直しを要望していると思うが、町長の考えは。

町長 説明がないまま事業を行っているとの指摘だが、極力説明をしている。また、必要のない事業はない。

問 ある町民の方が「町の事業がなかなか進まないのは、種まきの前に土づくりが出来ていない」と言われた。私は「土づくり」とは、議会や町民にしっかりと説明し、協力を要請することだと思う。そうしなければ芽は出ない。

答 その結果、協力を得られない事業はやめるべきとも思うが、町長の見解は。

町長 今まで、かなり調整会議で説明してきている。これからも調整会議などを活用して説明をしていく。

チャレンジ基金

問 支援決定者からさらなる要請が出た場合、支援を行うのか。

町長 財団が再度、内容精査し、その結

果、さらなる支援もあり得る。

問 貸し付けのための基金は2億円である。このまま寄付が少なければ、枯渇することが考えられるが、この場合の対策は。

町長 基金増の対策として、公益財団化を目指している。

問 貸付金の据え置き期間は5年である。基金の枯渇を防ぐためにも期間短縮などの対策が必要では。

町長 早期返済が可能と判断したら柔軟に対応をする。

問 昨年の資金支援策で実行していない事業があるが、対策は。

町長 水力発電の再開事業については、現在、中国経済産業局と

交渉中。資金の提供はしていない。

JIN プレミアム

問 「もの」に対しては審査基準をもっと分かりやすくしては。またブランド化に向けての展開は。

町長 JINプレミアムは、「もの」「ひと」「こと」を対象にしているが、個々に具体的な基準を設けることは、慎重に検討をしたい。ブランド化には、まだ知名度が低い。PR物品として、ラベル、のぼり旗、手提げ袋、ビニールレジ袋などを提供している。



JINプレミアム商品のPR効果に期待のかかる、販売促進物品



久保田 龍泉 議員

問 投資ファンドはやめるべき

答 資金支援を行う

町長

問 財団と投資先との返済契約書の提出を求める。

答 町長 民間同士の契約なので出せない。

問 2億円の基金が財源であり住民監査請求しても見れないのか。

答 町長 監査請求については今後検討するが、町と財団との貸付状況は監査できる。

問 町費を投資し、焦げ付いた場合誰も責任を取らない無担保、無保証人、無責任体制がはっきりした。

町民の税金であり、この事業はやめるべきだ。

答 町長 補助金制度の支援の仕方を見直すため、専門家の意見を聞き、資金支援・伴走型支援をするもので無責任な運用にはならない。

問 財団は町から5年据え置きで借入れし、財団は投資先から5年〜10年で返済を求めめるが、この間財団は町への返済資金がない。どうするのか。

答 町長 投資先の財務状況が改善した場合、3年〜5年で返済してもらおう。

問 そんなあいまいな事ではだめだ。5年の据え置きは長い。短くすべきだ。

答 町長 規則で決めていないが、事業計画を出すとき、5年据え置

き後の資金返済計画を提出してもらおう。計画は財団で十分検討される。

神石広域農道 災害復旧

問 草木地区の災害は発注されたが、高光地区の大規模災害復旧はまだ工事発注されていない。現状と発注見通しは。

答 町長 年内には実施設計を完了したい。来年度には発注しないと3年の完了目標に届かない。

問 昨年の災害の反省を踏まえると、国から査定時期を指定され、500箇所及以上設計書を作成しなければならず、職員は毎日残業し、1月に査定が終了した。工事は3年で完了であり、査定は年度を跨いで2回するなど柔軟な運

用ができないか。国への要望は。

答 町長 町長会で国交省や国会議員へ要望した。査定時期の延期は制度で年度内と決まっております。変更はできない。制度の改正を引き続き要望する。



8月20日の対話集会は神石高原町の「いいところ」、「変えたいところ」について、5つの基本目標ごとに洗い出し、カードに記入して意見を出し合った。

提言をどこまで盛り込むのか。

答 町長 情報発信の必要など多くの意見が出された。内部で検討し戦略策定を行う。

問 子育て支援対策での住宅家賃補助の考えは。

答 町長 人口増につながるので、考えていきたい。

第2次総合戦略 策定

問 住民対話集会は2回では少ない。政策

道の駅182ステーションの今後は



小川 清治 議員

町長 **答** 滞在型施設として来春オープン

問 リニューアルの進捗状況は。

答 町長 工程通り進んでいる。

問 工事現場に、完成鳥瞰図やおお客様に対して工事中のお詫びやオープン予定など案内看板をするべきだ。

答 町長 早急にしたい。

問 出荷者説明会の内容は。

答 産業課長 リニューアル工事概要と今後の予定、新しい出荷の

ルールについて説明する。

問 道の駅と百彩館の集荷体制をエブリイ同様にしては。

答 町長 従業員による直接集荷は限界があり、出荷者間での相互連携方式も視野に入れ調整中だ。

問 百彩館の売り上げがかなり落ちていていると聞くが、その実態と対策は。

答 町長 平成29年度から年1000万の売り上げ減、来客数も5千人減が続き、産直部門での減額となっている。今後の対応は、集荷流通の拠点として運営する。

問 リニューアルに伴う体制整備、運営など将来的な構想は。

答 町長 リニューアルに伴う体制整備のため

め、オープンに向け社内役割分担の調整を行なっている。適正な人員配置のため4人の職員募集を行なっている。

将来的な構想として、親子で楽しめる長時間滞在型の道の駅として、町内各観光場所への誘導機能も持たせた施設を目指し、会社と調整を図っている。

問 ローソン部門30年度決算では245万円の赤字で累積すると1000万円を越えている。このままでは赤字が増える一方だ。

答 産業課長 会社全体での相乗効果があるためこのまま続けていく。

問 続けるのならこの際リニューアルにあわせて、町税などの徴収や住民票発行などのサービス業務代行を加えては。

答 住民課長 現在の徴収率は県内トップでありローソンに窓口を増やす意味はない。

答 町長 ローソン窓口設置に2000万円、運営に500万円程度かかるため設置は考えていない。

問 長時間滞在型の道の駅として駐車場の確保出来るのか。

答 産業課長 造成工事において縮小している。近隣民地での調整も今のところ出来ていない。遊具に近いところを確保したい。

問 現場、出荷者、町の意思疎通がなされていないのでは。

答 町長 意思疎通は図っている。



リニューアル中の道の駅



木野山 孝志 議員

問 本年度実施の学力テストの結果は

答 小・中学校ともに県・全国平均を上回った

教育長

問 本年度実施の全国学力・学習状況調査の結果は。

答 教育長 全国・県平均と比較すると、小・中学校は、国語、算数ともに、上回っている。

中学校は、国語、数学ともに上回った。特に国語は、大きく上回っている。数学ではデータ分析し課題を解決する事、数学的表現に課題が残った。

今年初めて実施された英語は下回っている。

「聞くこと」については正確に情報を理解し、正確に聞き取れている。「読むこと」については話のあらすじを理解する

る事、「書くこと」では与えられた情報に基づいて、肯定文や否定文を正確に書く事が出来ていない。

今後は、授業の中で言語活動をより充実させたい。

問 本町では町長方針で英語教育の環境整備には力を入れている。

また生徒も英語が好きで学びたいとの意見が多いにもかかわらず、全国・県平均より大きく下回った。

どう分析されるか。

答 教育長 「書くこと」については基礎的な部分を確実に定着させていくことが、課題の解決に繋がると考えている。

問 文科省は平成の初期から、英会話を重視する英語教育に転換した。にも拘らず定着していないことが今回のテストで判明した。日本人は、

日本語で高等教育まで理解できるからだ。英語教育では基礎基本修得が大事で、英会話が出来ても仕事が出来ないではダメだ。

本町に英会話が学ばない生徒には、それに応える体制を整えるなど、本町として特色ある英語教育をすべきだ。

答 教育長 今回のテストの結果を分析し、A・L・Tなど現在行っている取り組みがより生きるように考えていきたい。

産直市場の
販売価格

問 ①ほとんどのスーパーやコンビニは外税方式で表示。

- ② 消費者に税額が良く認識される。
- ③ 商品価格が急に値上げになったと認識されない。
- ④ 内税方式では出荷者の販売価格が減額となる。

⑤ 軽減税率適用における事務手続きを緩和。以上の観点から産直市場の販売価格表示を、現在の内税方式から外税方式に変更したらどうか。

式ならば外税表示が可能となっている。顧問税理士に相談の結果「総額表示」が原則と指導を受けている。現在では内税対応をしている。

答 町長 消費税法によれば、産直市場では「総額表示」方式が定められているが、特例として消費者が誤認しない方

これまで消費税率の改正時には適正な価格表示を指導してきた。今回も、適正な価格設定の指導を行っている。



消費税増税後、油木百彩館に並べられた商品の価格表示。

問 どう取り組む「食品ロス削減」



答 広報活動など啓発に努める



寄定 秀幸 議員

答 町長 国・県の方針を踏まえ、食品ロス削減の取り組みを検討す

問 国内で廃棄される食品の量は2759万トン、そのうちまだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」は643万トン（平成28年推計）。国連の「持続可能な開発目標」（SDGs）は、2030年までに世界全体の食糧廃棄を半減させることを掲げている。日本は、家庭から出る食品ロス削減を2030年度までに半分に減らすことを目標としている。食品ロス削減へどう取り組むのか。



いずみ保育所の給食 みんな残さず頂きます

答 町長 保育所では、毎日残食調査で残量を記録し、量の調整や翌日のメニュー作成に反映

問 学校教育や食育・環境教育での食品ロス削減の取り組みは。

る。具体的には、一般廃棄物の削減や関係事業者への啓発、町広報誌などを活用した広報活動を考えている。

とどない。今後も、学校給食を活用した食育や環境教育を通し、食品ロス問題を考えていきたい。

問 学校給食や食育・環境教育での食品ロス削減の取り組みは。

している。
答 教育長 学校給食を通して、食育の中で食品ロス削減の取り組みを実施している。学校給食共同調理場などで、各校のご飯やおかずの量を把握し対応しているの

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣被害による営農意欲の減退は著しく、離農につながる、過疎化や人口減少に拍車をかけている。より実効性ある取り組みが必要では。

答 町長 有害鳥獣対策経費として毎年2千万円から3千万円を予算化し取り組んできたが、農作物被害は減っていない。

問 個体数の減を図ることでの鳥獣害対策には限界があることから、全国のが先進事例に習い、新たな取り組みをしていく必要がある。

答 産業課長 鳥獣被害対策のエキスパート

問 鳥獣被害対策の専門員を配置すべきでは。

答 産業課長 鳥獣被害対策のエキスパート

の配置を検討したい。

企業版ふるさと納税

問 企業版ふるさと納税の活用を積極的に検討すべきでは。

答 町長 国のまち・ひと・しごと創生基本方針では、企業版ふるさと納税は、損金算入と併せ、税額控除割合を寄付額の9割に引き上げること、認定手続きの簡素化や、抜本的制度拡充を行うなど、税制改正が検討されている。

本町は、これまで企業版ふるさと納税は活用していないが、今後は、第2期総合戦略策定と同時並行で、地方創生総合戦略を実現する財源として積極的に検討したい。



小川 善久 議員

問 ため池の申請により何がかわるか

答 管理者の明確化と保全の適正化を促す



町長

問 農業用ため池の名称・所在地・所有者・管理者・規模などを今年の12月末までに届けなければならぬ。水田がなくなり、利用者がいない場合はどうするか。

答 町長 利用されていない場合、ため池の状態や下流域の被害想定などを基に、県が判断するものと考ええる。

問 県の方針書によると農業用としてではなく、防火用水や観光、環境、涵養など目的を複合とする場合、市町の判断とするとあるが。

答 建設課長 水を利用したい人が管理者となる。

下流域に被害が想定される場合、県と管理者の3者で検討することとなる。

届出がない場合や不明な場合、県と調整し、緊急性のあるものから方向性を出していく。

修繕についても個々で状態が違うと思う。

町独自の補助金もあるので必要なら相談していただきたい。

チャレンジ基金の運営

問 町は(一財)チャレンジ基金が民間に貸付ける資金として、平成29年と30年に3000万円ずつ貸付をしている。

また、ふるさと納税だけでなく、1000万円を上限に運営補助金として支払っている。これらの財源確保と運営は。

答 町長 財団の運営は、設立して間がないので、財政基盤が希薄である。当面、町からの補助金を充てる。

運営補助金の決算額は500万円だ。

問 創設以来、2年半で貸付けが3200万円だ。年間平均1280万円の貸付けの為に年間500万円の運営費は高すぎないか。

答 町長 東京の専門家を徐々に地域に落とし込み経費の削減をする。

JINプレミアムブランドの商品化

問 神石牛をメンチカツに加工し、それをサンドイッチに加工して、全てJINプレミアムに登録できないか。

答 町長 多くの品を認定するためにPRは行っているが、申請が少ない。町が加工品を作って販売することはできない。町民にブランドへの理解と、認定されたものをいかに全国へ発信していくか検討する。

問 リニューアルする道の駅で、プレミアム感のあるコーナー展開も出来ないか。

答 町長 PRは伝わらないとゼロなので、JINプレミアムで商品の発信力を強めたい。



健全度のやや低い防災重点ため池

問 有害鳥獣の利用促進は



林 憲志 議員

答 ジビエ事業の運営を検討



問 有害鳥獣捕獲奨励金は、イノシシ1頭、吉備中央町ではジビエ用肉で国と県の補助金を合わせれば1頭3万円近くになる。本町でも活用できないか。

答 町長 国の有害鳥獣処理費用は、イノシシ1頭につき満額で8千円の助成が県内では福山市新市町のみで実施されている。この制度について本町猟友会に提案したところ、申請に係る事務処理が負担になるとの理由から実施していない。現在、本町猟友会とジビエ事業者との連携による獣害対策を進めている

が、これを機に、ジビエ事業者などが事務手続きを代行する形での、国の助成金への取り組みも検討する。

次期広域ごみ処理施設

問 RDFによる発電事業の総括と、今後の広域ごみ処理施設建設によるバイオマス発電事業など、ごみリサイクルへの展開は。

答 町長 この発電事業については、平成30年度を最終年度として稼働したが、5年間の延長となり、令和5年度までの事業となったことも考慮すると、役目は十分果たされたと思う。今後、福山市で整備される次期ごみ処理施設においても、エネルギー回収型、いわゆる発電型の処理施設となることから、ごみリサイクル事業の取

り組みとして継続していくことになる。

ごみ袋代の負担軽減

問 新たな広域ごみ処理の議論の中で福山市、府中市のごみ袋代と本町の比較検証を行い、ごみの減量化と並行し、ごみ袋代を引き下げはどうか。

答 町長 次期ごみ処理は焼却処理となるの

で、現在の分別の仕方とは、変わるものが生じる。また、福山市や府中市の動向も考慮する必要がある。ごみ処理手数料の目的や意義を見据えながら、住民の皆さんの負担軽減に向け検討する。

ドラマ関連商品の販売促進

問 ドラマで登場した料理、特産品などの販売促進は。

答 町長 配信は決まっているが、販売については交渉中。

問 今回のドラマは中国市場を狙ったものと考えますが、中国人向けの配信形態と販売促進方法は。

答 町長 日比谷公園でのイベントや町内4店舗で展開した。また、ネットでレシピの発信をしたり、ドラマ制作会社が、町の産品をネット販売する予定だ。



東京日比谷公園で開催された、ジャパンフードパークに出店した「逃亡料理人ワタナベ」のブース(上) 地元のレストランでコンニャクを使った「ドラマ飯」も提供(下)

条例制定・改正

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

工事請負契約の変更

全会一致

工事名 庁舎・病院敷地造成工事
請負者 児玉建設株式会社
金額 3億7260万→3億7950万
・消費税増税のため

工事名 ふるさと活性化センター改築工事
請負者 宮田建設株式会社
金額 2億9592万→2億9645万
・工事事業量減
・消費税増税のため

工事名 三和中学校改修工事
請負者 村上建設株式会社
金額 1億1826万→1億2530万
・工事事業量増
・消費税増税のため

条例制定

全会一致

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
・臨時職員の名称変更と処遇改善

条例の一部改正

全会一致

印鑑の登録及び証明に関する条例
・今まで使えなかった旧姓などが使用可能に
医療従事者育成奨学金貸付条例
・准看護師から正看護師になる場合での奨学金の見直し

(他3件)

7月臨時議会

工事請負契約の締結

全会一致

工事名 出佐道路災害復旧工事
場所 神石高原町油木地内
金額 5885万円
請負者 村上建設株式会社
工期 令和元年7月10日～令和2年3月31日

まちの声

主なご意見を掲載します

● 庁舎・病院をいかに活用し福祉のまちづくりにするか、町の目指す方向性を示してほしいです。
(60代 男性)

● しっかりと示し伝えるよう努力します。
(議会)

● 昨年7月に土砂災害受けました時測量に駆けつけて頂き元気をもらいました。書面をもちまして町職員様に感謝を申し上げます。
(80代 女性)

● 議員のなり手不足は報酬を課長級以上にアップし無駄な経費などについて検討してください。
(90代 女性)

● なり手不足に関しては、引き続き検討していきます。
(議会)

● 県道吉舎油木線のうち長者ヶ原やすらぎ苑の間の道路改良を要望する。
(70代 男性)

● 測量は進んでいますが、様々な課題がありなかなかすすんでいません。引き続き要望していきます。
(議会)

● 人口増のパフォーマンスも悪くはありませんが、今暮らしている人たちにも優しく住みよい町であるよう並行して取り組んで頂きたい。
(50代 男性)

● 住みやすいまちづくりに取り組みます。
(議会)

● 議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

クイズの答え

- ① 庁舎・病院
- ② 財源
- ③ 議員

第41回議会クイズ当選者

油木地区 横川 シマ枝さん

ゆめとこころをいっしょに

委員会報告

調査
内容

こだわりの米パスタ — 地域産品 6次産業化 —



パスタにあった米の品種や配合を研究し商品化

調査結果・提言

目標とする加工製品をまず決定し、市場への販売や直接消費者に提供するという、新たな視点をもって本町産品6次産業化の可能性を探るべきである。

調査報告

平成21年に創業100年の節目をむかえ、農業生産法人を設立。現在は米を原料に、イタリアの製法を忠実に再現して生パスタを製造販売。レストランでも提供している。

調査場所

兵庫県姫路市山田町
農業生産法人 小川農園株式会社

産業建設 常任委員会

調査日時

令和元年7月23日(火)～24日(水)

委員

藤田 晃己

松本 彰夫

橋本 輝久

林

憲志

委員長

木野山孝志

副委員長

小川 清治

調査
内容

有害鳥獣捕獲でサブビジネス — 個体処理と有効利用 —

調査結果・提言

視察研修先の活動を参考に捕獲者の収入を一定額確保できれば、サブビジネスとしても十分になり立ち、狩猟者の確保、若者定住に繋がるのではないか。

調査報告

加茂川有害鳥獣利用促進協議会では、町内で捕獲されたイノシシなどを買取り、各部位に解体し、肉はもちろん、皮、牙、脂肪とほとんどの部分を、利用し多様な製品に加工し販売している。

調査場所

岡山県賀茂郡吉備中央町
加茂川有害鳥獣利用促進協議会



イノシシの牙・革や鳥の羽などで作られた、キーホルダー・ストラップの商品

総務文教常任委員会

調査日時

令和元年7月17日(水)～18日(木)

委員長
委員

久保田龍泉
寄定 秀幸

副委員長

横尾 正文
横山 素子
小川 善久

調査場所

鳥取県智頭町

調査報告

智頭町は町政へ住民の声を反映させることを目的として、百人委員会を設置した。

委員会は執行部に企画提案しており優れた企画に対し町が事業化することとしている。

事業化された主なものに「森のようちえん」や「木の宿場プロジェクト」などがある。

調査結果・提言

百人委員会の活動を通して、町議会議員が4人誕生し議員のなり手不足解消につながった。町は、百人委員会的な組織を考える必要があるのではないか。

調査内容

百人委員会から企画提案 — 議員のなり手不足を解消 —



智頭町で研修中

調査内容

近隣と連携した定住対策 — 移住定住対策調査 —

調査場所

鳥取県大山町

調査報告

移住定住サテライトセンターを設置し相談業務を民間団体に委託。

空き家購入や改修の補助金は、県の補助などを活用し、県の内外からの居住に差をつけている。

企業誘致は21社が進出。分譲宅地の造成は合計210区画造成し、現在はほぼ完売。

調査結果・提言

平成26年から平成30年まで104人が移住する。近隣の大学と町が連携しまちづくりに取り組んでいる。企業誘致も進んでおり、雇用の場も確保している。神石高原町でも近隣大学とまちづくりについて、連携する必要があるのでは。



定住対策が充実している大山町での研修

広報 常任委員会

研修日時 令和元年9月25日(水)

- | | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 議員長 | 松本 彰夫 | 副委員長 | 林 憲志 |
| 委員長 | 赤木 俊一 | | |
| 委員 | 木野山孝志 | 横山 素子 | 小川 善久 |

研修場所

東京都千代田区
シェーンバツハ・サボー

研修報告

全国町村議会議長会の主催による町村議会広報研究会に参加した。全国から176町村が参加し、研修は3項目、それぞれ「読者目線で親切な広報誌を作るには」手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには」などの内容だった。
広報誌の発行目的である住民と議会の良好な関係作りのため、わかりやすく読んでもらえる議会広報誌の作成を目指したい。

研修内容

情報をわかりやすく伝える — 読者目線で親切な広報誌 —



「いかに住民の皆様にも読まれる広報誌を作るか」などを3人の講師から、様々な角度で学んだ



広報常任委員会 編集作業中

決議

天皇陛下御即位を
奉祝する賀詞の決議

天皇皇后両陛下の益々のご清祥と令和の時代が平和で希望に満ち溢れるものとなりますようお祈り申し上げます。

神石高原町議会は、町民を代表して謹んで慶賀の意を表します。

提出者 久保田龍泉
賛成者 横尾 正文

議員発議

国への要望

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

提出者 寄定 秀幸
賛成者 藤田 晃己

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

提出者 木野山孝志
賛成者 赤木 俊二

県への要望

広島県主要農作物種子条例の早期制定を求める意見書

提出者 横尾 正文
賛成者 木野山孝志

きれいになったよ 帝釈の湯



毎週日曜日は町民無料!!

【営業日】 土日祝 12:00 ~ 21:00
【入湯料】 500円 (中学生以上)
250円 (4歳以上) 以下は無料

令和元年5月1日から、リニューアルオープンして、多くの人に利用されている「帝釈の湯」。平成30年度の事業で、浴場のボイラーや柱など大規模な改修を行なった。以前は、駐車場から、長い階段を上がっていたが、かさ上げすることで、階段の段数を減らし、駐車場を広くすることで、車も止めやすくなった。受付事務所も新設し、利用しやすくなった。今年の夏休みシーズンは、関西圏の大学生の合宿場として、テニスやフットサルのサークルが、天候に左右されないコスモドームで練習、新しい風呂で汗を流している。

毎週日曜日は

神石高原町民の日

10月から営業日が変わり、土・日・祝日となった。

『神石高原町民の日』は継続され、神石高原町民であれば、毎週、日曜日には、無料で入浴できる。

また、これからの紅葉や行楽シーズンに、帝釈峡の観光や、グラウンドゴルフと食事・入浴ができる、平日日帰りプランもある。

広島県、岡山県内なら15人以上、37人まで無料送迎を行なっている。



浴場の柱や屋根を新しくして、更衣室などもリフォーム



日帰りプラン昼食会席

元気なグループ紹介だよ!



「神石ブロック総合文化祭」で演奏を披露

神石地区

大正琴「宴田頭」
うたげ たんどう

仲間を募集中

私たちの会は平成元年に結成し、以来30年間、色々な出来事もありましたが、令和に移り31年目を迎えることができました。

毎月2回、田頭集会所で、夜7時30分から

1時間30分、上下町から先生を招き練習を続けています。

私たちの琴は、ベース・テナー・メロディなど、それぞれパートが担当して、一つの曲を完成させていきます。全員合わせるの難しいですが、きれいに弾けると嬉しいものです。

県民文化祭や府中での発表会などに出演する時、上下町のメンバーと一緒に演奏することもあります。今は11月開催の地域交流会に向けて頑張っています。演奏も人数が多い程、音も広がります。琴に興味のある方は、是非、お声をかけてください。仲間を募っています。



「けんみん文化祭ひろしま 福山地区フェスティバル」に上下町のメンバーと合同で出場

代表 山尾 静香
連絡先 88-0011
(丸山)

間を募っています。私たちは「細く、長く、仲良く」をモットーに、これからもできる限り演奏を続けていければと思います。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は12月です

編集後記

議会では様々な意見を出しあい、議論し、検討し、町民の方々の「最善」と思われる方向を出そうと奮闘しています。

しかし、議会が出した答えを実行できるとは限りません。

小さい町の広報誌ですが、何がいいことなのかをみんなで考えるきっかけになれば幸いです。(赤木)

表紙の紹介



第91回神石郡畜産共進会に出場した、油木高校産業ビジネス科の生徒のみなさん

議会広報常任委員会

- 委員長 赤木 俊二
- 副委員長 林 憲志
- 委員 木野山孝志
- 委員 横山 素子
- 委員 小川 善久

第42回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- ① 全会計〇〇〇〇で認定
- ② 何が問題〇〇〇〇にっぽん
- ③ きれいになったよ〇〇の湯

ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小島2025番地
神石高原町議会事務局「第42回議会クイズ係宛」

●締め切り

11月11日(月) 消印有効

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

発行責任者 議長 松本彰夫
住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 08471891340
FAX 084718514201